

第3次

小郡地区地域福祉活動計画

2025.04 ▶ 2030.03



撮影：村上 義弘さん「仁保・篠目間 田代峠を越えるD51やまぐち号」

小郡地区社会福祉協議会

は じ め に

令和2（2020）年1月に、日本で最初の新型コロナウイルス感染者が確認されて、5年が経過しました。世界中の人達が、経験したことの無い異常な状態に陥りました。その中で、「小郡地区第2次地域福祉活動計画」が作成され、小郡地区社会福祉協議会は、背伸びをしないで確実にみんなが参加したくなるイベントや研修会などの年間活動計画を実行してきました。

令和7（2025）年2月26日には、岩手県大船渡市で山火事が発生して多くの山林と家屋が消失しました。被災地の皆様にお見舞いを申し上げます。

第3次小郡地区地域福祉活動計画は、前計画をさらに精査して簡潔にわかりやすく、5年後の現状に合った小郡地区社会福祉協議会が実施可能な事業と、今後取り組むべき事業を重点事業として明記しています。

少子高齢化社会も益々進展し、コロナ禍によるコミュニケーションの希薄化、生活環境の変化や物価高騰による社会情勢の変化などの影響により、現在、小郡地区社会福祉協議会には、財政の健全化や若い人材育成・確保などの課題がありますが、今後も役員一同は一生懸命に努めますので、小郡地区社会福祉協議会を応援してくださる皆様方には、何卒ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

この計画の作成にあたりご協力をいただきました、小郡地区内の関係団体代表者並びにボランティア関係者、山口市社会福祉協議会、山口市川西地域包括支援センター職員等の皆様に、お礼を申し上げます。

令和7年4月吉日

第3次小郡地区地域福祉活動計画策定委員会

委員長 吉 武 直 樹



【基本目標】ともに支え合い、心豊かに暮らせる福祉のまちづくり

3つの活動目標

高齢者、子ども、障がい者
の見守り活動の推進

住民相互の
交流の推進

だれにもやさしい
環境づくり



小郡地区の特徴と現代の課題

小郡駅開業から歴史を引継ぎ新山口駅となった今も、小郡地区は交通の要衝として、世代を問わず住み良い地域とされています。30年前と比較すると、人口は21,758人から25,414人に増え、山口市内で最大の人口となっています。世帯数も7,863世帯から12,309世帯へ増加しています。(2025年2月行政資料) 世帯数増加の背景には、核家族化や単独世帯の増加の影響を受けていると考えられます。(P3資料①) 全国的にも独居が増加傾向にあり、その内訳は高齢1人暮らし、未婚世帯など、世帯も年々多様化しています。夫婦共働き世帯もかなり増加し、(P3資料②) 小学校の放課後児童クラブの利用も年々増えている現状にあります。小郡地区社会福祉協議会は、「ともに支え合い、心豊かに暮らせる福祉のまちづくり」を基本目標に、地域福祉の充実の為発足し、2025年で10年目を迎えました。地区社協発足時から、地域住民の生活課題に重点を置き、住民目線に立った地域福祉活動計画を策定しました。

地区社協、地域団体それぞれの役割

地域福祉を充実するため、まず主役になるのは地域住民です。生活課題を解決していくことは住み良い地域づくりには欠かせません。その中でも地域住民のつながりによる支え合い、協力により解決することがたくさんあります。それは、そんなに難しいことではありません。生活課題は時代によって常に変化していきます。課題解決を地域の中で取り組んでいく為に「地域力」をより高め、地区社協並びに、自治会連合会など、地域団体や組織等で連携を強化していく必要があります。

相手のことを受け入れ、認めて共存していく

小郡地区は 2005 年の市町村合併以降、新山口駅付近を中心に都市開発が進みました。2015 年には新山口駅の自由通路が完成し、完全リニューアルしました。そして KDDI 維新ホールが完成しました。さらに山口宇部道路の完成、山口県立山口松風館高校の開校があり、駅前は一気に近代化し、以前に増して山口市の拠点となり、人の往来も増加しています。今もなお、駅前北口開発が進行中で、新たに小郡地区に住まいを求めたり、定住したりする人が増えることが予想されます。

小郡の歴史を知り、地域に古くから居住する人、マンションや新しく住まいを求めて移住してきた人、転勤等で小郡に赴任して、住み良さから永住を決めた人、生活環境や境遇が様々です。色々な立場の人を受容しながら、地域が人に、人が人に優しい街づくりを目指します。

もっと小郡をいいまちにしたい、暮らし続けたいくなる小郡

少子化が懸念される中、小郡中学校は、クラス数も 7～8 クラスと多く、市内ではマンモス校として知られています。そして小郡地区は小学校 3 校、中学校 1 校（P3 資料③）、高校、大学、専門学校等、教育機関が大変充実しています。市内外、また県内外から進学してくるケースもあり、成人までの長い期間を小郡地区で過ごす人も多くいます。

幼少期の思い出や経験は、社会に出て、歳を重ね高齢になっても、懐かしんだり、振り返ったりするものです。その思い出や経験によって、地域やふるさとを思う気持ちや印象は変わってきます。小郡地区が交通の利便性だけでなく、もっと魅力を増やし、暮らし続けたいくなるふくしのまち小郡を作る為に、3 つの活動目標を追加しました。

イメージ図

【基本目標】ともに支え合い、心豊かに暮らせる福祉のまちづくり

 3 つの活動目標

高齢者、子ども、障がい者の
見守り活動の推進

住民相互の
交流の推進

だれにもやさしい
環境づくり

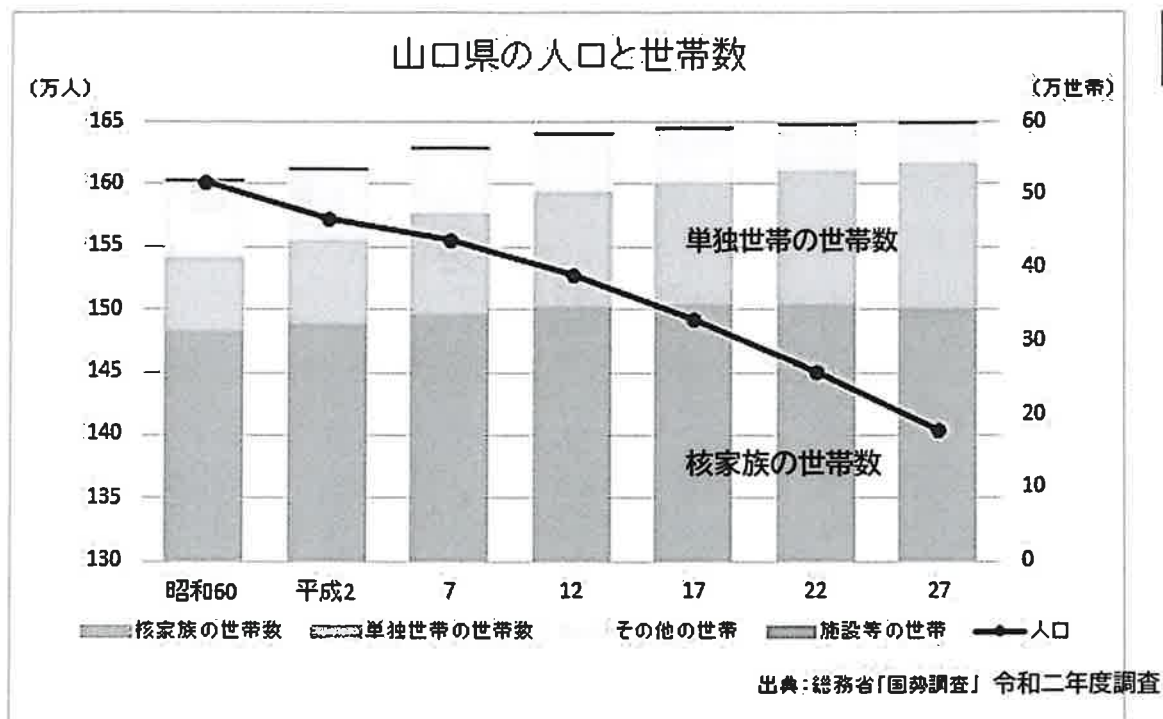


 新たな 3 つの活動目標

小郡地区の
魅力の発見

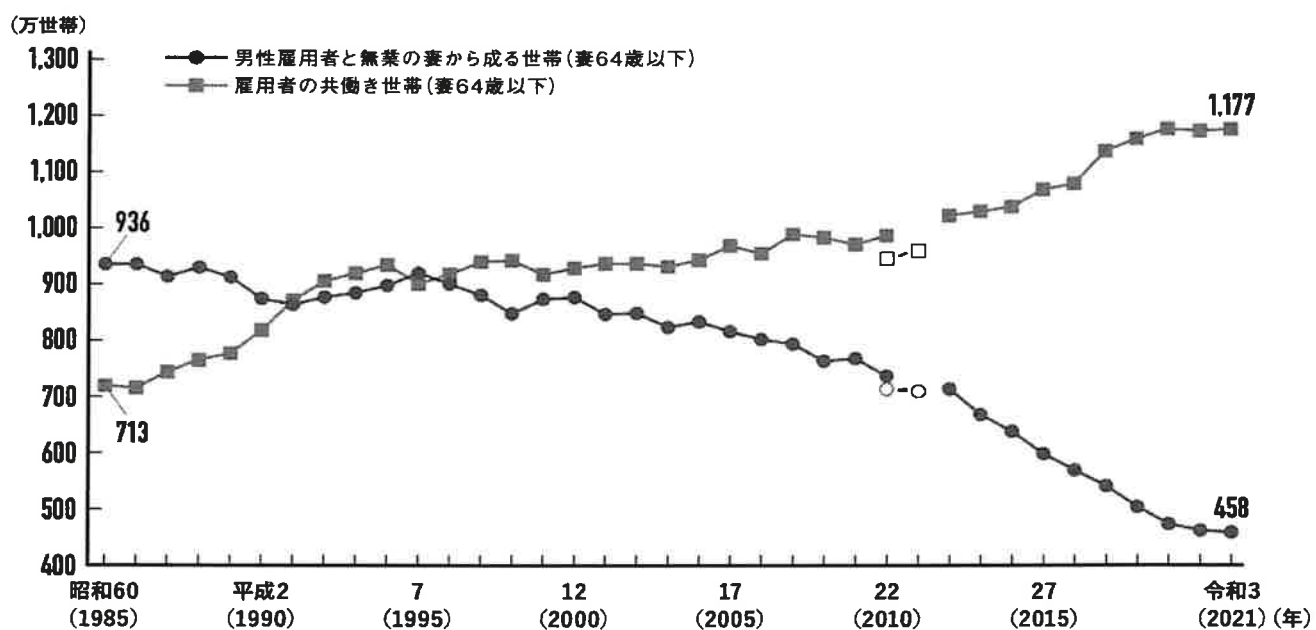
担い手の育成と
人材発掘

自主財源の確保



■共働き世帯数と専業主婦世帯の推移（妻が64歳以下の世帯）

資料②



■小郡地区の小・中学校の児童数 (R7.2.28現在)

資料③

上郷小学校	453 人
小郡小学校	416 人
小郡南小学校	560 人
小郡中学校	683 人
児童・生徒数合計	2,112 人



【基本目標】ともに支え合い、心豊かに暮らせる福祉のまちづくり

活動目標

高齢者、子ども、障がい者の見守り活動の推進

地域の中で、見守りの目を増やします。”ゆるやか”な見守りから“しっかり”した見守りまで。あたたかく目配りをしてくれる地域住民を増やし、高齢者、子ども、障がい者の見守り活動につなげます。

見守り活動は、孤立化・引きこもり、また認知症の発見につながったり、高齢者、子ども、障がい者の虐待を防ぐなど命に係わる大変重要な役割を担います。

具体的 事業と 計画



見守り研修会グループ討議

- ① 友愛訪問活動見守りグループ員研修会
- ② 認知症関連の研修会（街ブラ人声掛け訓練）
- ③ 災害ボランティアセンター研修会
- ④ 福祉員活動の支援、研修会などの開催
- ⑤ 歳末たすけあい激励品の配布
- ⑥ 障がい者ボランティア団体との意見交換

支援と 協力



認知症模擬訓練



介護予防（100歳体操）

- ☐ 認知症サポーター養成講座の周知・啓発
- ☐ 介護予防等出前講座の周知・啓発
- ☐ 山口市ほっと安心 SOS ネットワークの周知・啓発
- ☐ 生活支援コーディネーターとの連携
- ☐ 小郡地区内の学校、企業との協力と連携
- ☐ 子ども登下校の見守り活動

主な 推進団体 協力団体 組織

小郡地区自治会連合会	山口市老人クラブ連合会小郡支部
小郡地区民生委員児童委員協議会	小郡地区福祉員会
おごおり地域づくり協議会	山口市連合婦人会小郡支部
各ボランティア団体	

重点的 取組み

- ・ 友愛訪問活動見守りグループ員研修会
- ・ 福祉員活動の支援、研修会などの開催

【基本目標】ともに支え合い、心豊かに暮らせる福祉のまちづくり

活動目標

住民相互の 交流の推進

だれにもやさしい 環境づくり

隣近所に「だれが住んでいるのかわからない」状態のままでは大変不安です。自治会、ご近所同士で関わり合いを持ちましょう。顔見知りで十分。あいさつで十分。もし自分自身に何かあった時、災害があった時などで「助けて」「困ってる」が言える住民同士の交流を作っておきましょう。

小郡に住んでいるすべての人が「**ふ**だんの **く**らしを **し**あわせに」思えるよう関係団体・組織と連携しながら、くらしの充実の実感、幸福度の向上に取り組みます。地域住民に耳を傾け、お困りごとに寄り添います。

具体的 事業と 計画



サロン活動の様子

- ① ふれあいいきいきサロンの
交流会・意見交換会（代表者）の開催
- ② ふれあいいきいきサロンへの
情報提供と活動支援・助成
- ③ マイクロバス事業の利用促進
- ④ 地区社協事業への参加呼びかけ

支援と 協力



100歳体操の様子（福祉員会）

- ☐ 「さぼさぼ小郡」小郡地区地域支え合い協議会
の支援
- ☐ いきいき百歳体操の推進
- ☐ サロン・地域住民グループの立ち上げ
- ☐ 山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会
との連携

主な 推進団体 協力団体 組織

小郡地区自治会連合会

小郡地区民生委員児童委員協議会

おごおり地域づくり協議会

各ボランティア団体

山口市老人クラブ連合会小郡支部

小郡地区福祉員会

山口市連合婦人会小郡支部

重点的 取組み

- ・参加し易い、行きたくなる地区社協事業の開催
- ・障がい者ボランティア団体との意見交換、情報収集
- ・「さぼさぼ小郡」への協力と地域内での拡充

※「さぼさぼ小郡」とは…日常生活での些細なお困りごとや、手伝って欲しいこと等を住民同士で支援すること

【基本目標】ともに支え合い、心豊かに暮らせる福祉のまちづくり

活動目標

小郡地区の
魅力の発見

担い手の育成と
人材発掘

小郡地区の魅力について、より実感出来るよう情報発信をしていきます。

交通面での利便性や、学校などの教育機関、公共施設や医療機関が充実しています。少子高齢化は、今後も続くことが予想されます。高齢者>若年者という状況を理解し支える側、支えられる側それぞれの立場で、地域を守り支えていくことが大切です。

広報紙やボランティア活動を通じて、成長期の小学生・中学生に社会福祉や、思いやりの必要性を伝えていきます。ボランティアやサロンへの参加で、充実感や達成感を感じる場合があります。体験型を中心に人材育成を行い、地域団体・組織内外で「魅力」ある人材を見つけ出します。

具体的 事業と 計画



地区社協イメージキャラクター

- ① 広報誌「きずな」の発行
- ② 児童向け広報紙「はあと to Heart」の発行
- ③ 地区社協「助っと組」の周知と登録募集
- ④ 学生のボランティア活動推進

支援と 協力

- ☐ 市社協サロン事業
- ☐ 市社協種まきリーディング事業
- ☐ 青少年育成（児童、学生の福祉教育支援と推進）

主な 推進団体 協力団体 組織

小郡地区自治会連合会	山口市老人クラブ連合会小郡支部
小郡地区民生委員児童委員協議会	小郡地区福祉員会
おごおり地域づくり協議会	山口市連合婦人会小郡支部
各ボランティア団体	

重点的 取組み

- ・児童向け広報紙「はあと to Heart」の発行（青少年育成）
- ・地区社協「助っと組」の周知と登録募集

【基本目標】ともに支え合い、心豊かに暮らせる福祉のまちづくり

活動目標

自主財源の確保

地区社協の運営には基盤となる財源が必要不可欠です。社協会費と赤い羽根共同募金活動は、自分たちのまちに還元される大きな資金となります。また、赤い羽根共同募金は、福祉事業や団体の支援だけでなく、災害支援にも大きく役立ちます。

自治会を主体に中心に、「自治力」へ繋がる重要な取り組みとして募金活動を推進していきます。

具体的 事業と 計画



地元スーパーで街頭募金



おごおり福祉まつりの古本市

- ① 社協会費、善意銀行（寄付金）の協力依頼
- ② 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の推進
- ③ おごおり福祉まつりの開催
- ④ チャリティー演芸祭の開催
- ⑤ 遊休品、古本等の活用

支援と 協力



- ☐ ボランティア団体等への助成
- ☐ 小地域見守りネットワークへの助成
- ☐ ふれあいいきいきサロンへの助成
- ☐ おごおり福祉まつりへの助成
- ☐ 山口市共同募金会への協力

主な 推進団体 協力団体 組織

小郡地区自治会連合会

小郡地区民生委員児童委員協議会

おごおり地域づくり協議会

各ボランティア団体

山口市老人クラブ連合会小郡支部

小郡地区福祉員会

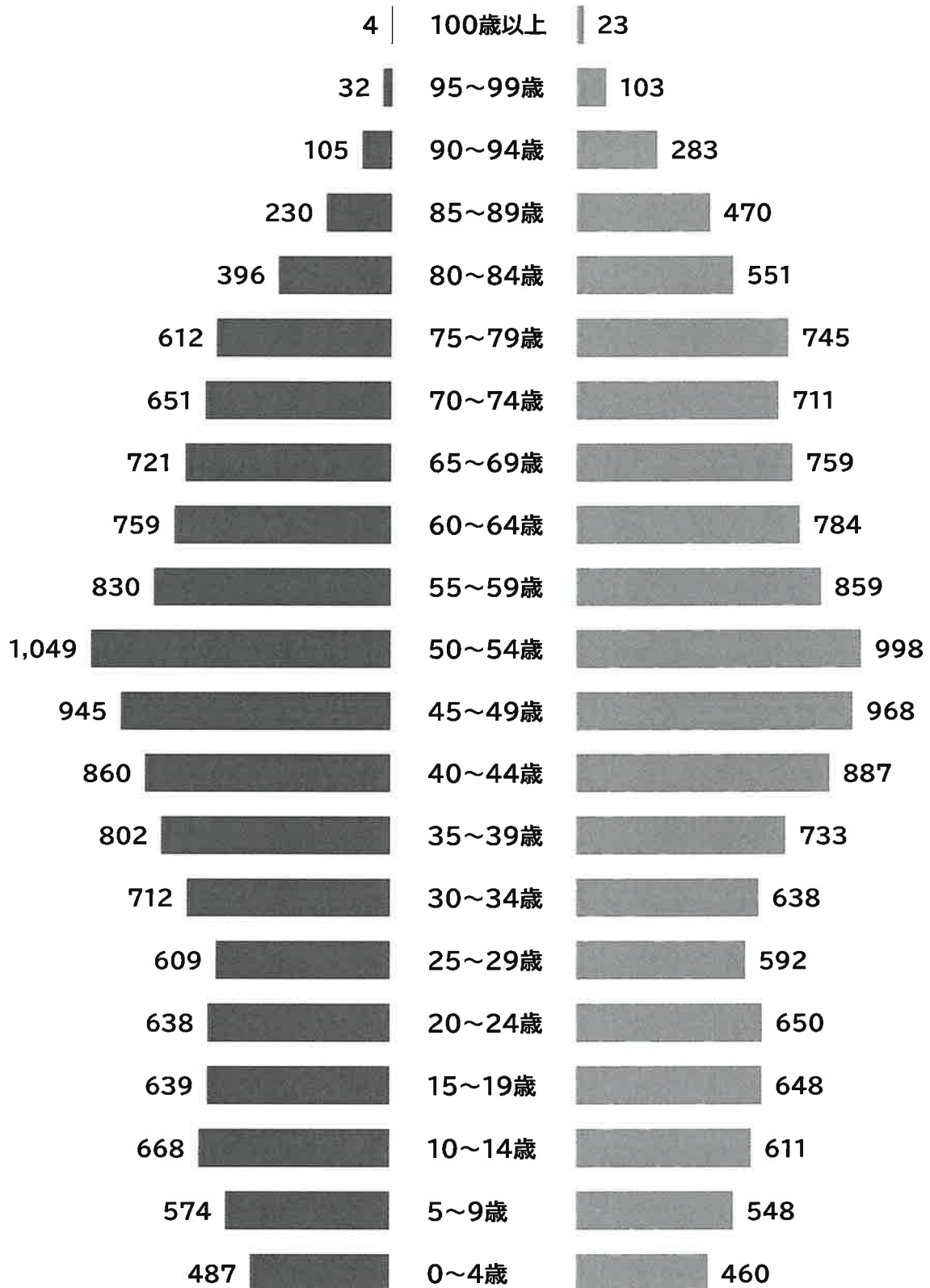
山口市連合婦人会小郡支部

重点的 取組み

- ・ 社協一般会費
- ・ 赤い羽根共同募金
- ・ 歳末たすけあい募金
- ・ おごおり福祉まつり

小郡地区 年代別・男女別人口ピラミッド

令和7年3月1日現在 単位:人



■ 男性 ■ 女性

行政区別	男	女	計	世帯数	行政区別	男	女	計	世帯数
前畑	36	47	83	44	田町	68	86	154	91
奥畑	11	13	24	11	中央通	161	182	343	196
新町西	468	514	982	417	津市上	156	168	324	157
円座東	175	180	355	170	津市中	64	61	125	72
円座西	32	58	90	47	津市下	73	91	164	88
平原	34	42	76	48	津市南	27	27	54	28
宮の原	96	91	187	108	大正上	98	102	200	111
宮の前	49	70	119	68	大正中	138	148	286	152
椎の木	81	87	168	67	大正下	92	109	201	129
新町東上	319	370	689	349	明治東	68	56	124	75
新町東下	171	212	383	207	明治西	81	80	161	109
光が丘南	83	95	178	80	明治北	329	370	699	315
光が丘東	307	323	630	258	山手上	509	510	1019	436
光が丘中	226	241	467	190	山手下	363	394	757	361
白土	38	42	80	51	矢足	411	428	839	435
仁保津上	172	200	372	196	長谷	373	364	737	359
仁保津下	340	442	782	468	長谷西	160	183	343	157
仁保津東	76	118	194	114	柏崎	553	525	1078	505
檜の前	87	87	174	98	新開	40	52	92	45
岩屋	44	39	83	43	原	12	16	28	17
八方原	147	173	320	159	金池	9	10	19	5
森下	41	54	95	64	鉄道寮	10	0	10	10
尾崎	173	197	370	190	駅南第3	801	773	1574	730
金堀	414	389	803	415	維新町	119	135	254	107
わかば台	205	208	413	136	御幸町	190	199	389	180
ヴェルコリーナ	530	572	1102	317	黄金町	291	312	603	268
元橋	65	52	117	73	高砂町	346	328	674	342
三軒屋	118	120	238	105	大江町	280	267	547	325
東津上	213	243	456	235	船倉町	190	154	344	169
東津中	242	232	474	247	緑町	132	129	261	137
東津下	108	156	264	125	花園町	133	87	220	134
新丁	108	122	230	123	若草町	56	54	110	70
柳井田	425	471	896	409	平砂町	29	22	51	40
蔵敷	327	339	666	322	小計	6,362	6,422	12,784	6,355
計	5,961	6,599	12,560	5,954	合計	12,323	13,021	25,344	12,309

第3次小郡地区地域福祉活動計画 策定委員名簿

(順不同)

氏 名	所属団体名
吉武 直樹	小郡地区社会福祉協議会
中村 勝一	山口市老人クラブ連合会小郡支部
恒富 竹司	小郡地区自治会連合会
徳光 孝夫	小郡地区民生委員児童委員協議会
秋本 和美	小郡地区民生委員児童委員協議会
光永由美子	小郡地区福祉員会
井上美代子	山口市連合婦人会小郡支部
横山 洋之	おごおり地域づくり協議会

第3次小郡地区地域福祉活動計画策定委員会 経過報告

	日 時	委 員 会	協議・検討事項
第1回	令和6年8月28日(水) 10:00～	第1回策定委員会	・委員長・副委員長選出 ・地区社協事業の振り返りと計画準備
第2回	令和6年9月30日(水) 13:30～	第2回策定委員会	・基本目標と活動目標 ・第2次計画の振り返り
第3回	令和6年11月25日(月) 13:30～	第3回策定委員会	・障がい者団体、ボランティアサークル意見集約 ・第3次計画策定案1校
第4回	令和7年1月22日(水) 13:30～	第4回策定委員会	・新たな3つの活動目標の追加 ・概要版の作成(案) ・第3次計画策定案2校
第5回	令和7年3月19日(水) 14:30～	第5回策定委員会	・第3次計画策定最終回 ・概要版仕上げ

あ と が き

「共に支え合い、こころ豊かに暮らせる福祉のまちづくり」を基本目標に、第3次小郡地区地域福祉活動計画を作成いたしました。

国は少子高齢化社会において、地域社会全体も、いろんな問題に直面しています。

平成7（1995）年11月に「高齢社会対策基本法」が立法され、国民一人ひとりが生涯にわたって、真に幸福を享受できる高齢化社会を築き上げていくために、雇用、年金、医療、福祉、社会参加、生活環境等に係わる社会システムがふさわしいものになるよう、不断に見直し、適切なものとしていくこと。国、地方行政、企業、地域社会、個人が相互に協力し、それぞれの役割を果たすことが必要であると位置づけられています。

福祉に関する推進は、人間が人間らしく最期まで暮らし続けるシステムづくりであります。財源と人材を「みんなに公平か」、「みんなのためになるかどうか」を基本理念に、実施されることを切望して後書きとします。

第3次小郡地区地域福祉活動計画策定委員会

副委員長 中 村 勝 一





イラスト提供：故 高木和文氏